

2011 年度

第 8 回

小学生のぼうさい探検隊
マップコンクール

入選作品集



東日本大震災で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

この震災はまさに未曾有の被害をもたらし、世界中の人々の生き方・考え方に大きな影響を与えたと言われています。損害保険業界では地震保険金の迅速なお支払いに努め、今までに約1兆2,000億円をお支払いし、被災された方々の生活の安定に資するという地震保険の役割を果たすことができたのではないかと、思っております。

さて、本マップコンクールは例年4月からスタートしておりますが、今年度は開始時期を遅らせざるを得ないと判断し、昨年6月から第8回の応募を開始いたしました。そんな折、第1回のマップコンクールで入選された石巻の方から「7年経った今、当時の子どもたちが成長し、ボランティアとして活躍する姿に感動した。今年、改めてぼうさい探検隊に取り組みたい」とのご連絡をいただきました。その後も、「こんな時だからこそ、防災教育に真剣に取り組みたい」との声を全国からお寄せいただきました。

こうして例年より2ヶ月遅れでスタートしたわけですが、結果は47都道府県のすべてからご応募をいただき、作品数も1,643点、参加された児童の総数は約1万800人といずれも過去最多となり、私たちも驚いております。やはり、全国的に防災をはじめとする安全教育への関心・気運が非常に高まっていることとあわせ、ぼうさい探検隊の活動そのものが全国に根付いてきていることを実感いたしました。

今年度の応募作品には、地域特有のさまざまな自然災害をしっかりと受け止め、具体的な対策や地域の改善点にも言及したものも数多く見受けられました。子どもらしさのなかにもキラリと光る的確な指摘は、これからの地域社会を創る若い世代の実力を感じさせるものばかりです。

この入選作品集は、文部科学大臣賞をはじめとする入賞7作品と審査員特別賞の8作品をご紹介しますことで、子どもたちの「気づき・学び」や「安全な地域への願い・地域を改善するための指摘」などを多くの方に知っていただきたく、作成いたしました。

日本損害保険協会では、「もっと安心で安全な社会へ ～日本の笑顔と活気を取り戻すために 私たちができること～」というスローガンのもと、様々な活動を行っています。

そのなかでもこの「ぼうさい探検隊」は、まさに、児童の皆さんが「自分たちにできることを自分たちで考え、笑顔と活気あふれる防災・安全教育」として、特に推進してまいりました。さらにこの「防災・安全教育」は、児童だけでなく地域の若者や大人たちにも新たな気づきを促し、地域全体の安全・安心への意識を高める効果をもたらしています。

今後も、このぼうさい探検隊を主軸としながら、防災・安全教育の普及に向けて一層努力していく所存ですので、皆様もご協力のほどお願い申し上げます。

最後に、この活動にご賛同いただき、惜しみないご協力を賜りました政府機関、関係団体の皆様方、マップコンクールにご参加をいただいた全ての皆様に、改めてお礼を申し上げます。

2012年2月

社団法人日本損害保険協会

あさの ひろみ
専務理事 浅野 広視

主催

社団法人日本損害保険協会／朝日新聞社／ユネスコ／特定非営利活動法人日本災害救援ボランティアネットワーク

後援

内閣府／総務省消防庁／文部科学省／警察庁／全国都道府県教育委員会連合会／アジア防災センター
社団法人日本ユネスコ協会連盟／日本ユネスコ国内委員会

目次 Contents

第8回

小学生のぼうさい探検隊マップコンクール

| | |
|--------|--------|
| 表彰式 | 2～3p |
| 審査の様子 | 4p |
| 審査総評 | 5p |
| 入選作品紹介 | 6～23p |
| 応募状況 | 24～25p |



「ぼうさい探検隊」とは…

子どもたちが楽しみながらまちを探検し、
まちにある防災・防犯・交通安全の施設や設備を発見して
マップにまとめる活動のことです。マップ作成後は、
発表を通して活動を振り返り、学んだことを皆で共有します。
子どもたちの「安全・安心への意識」が高まるだけでなく、
まさに「地域ぐるみの安全“共育”」が着実に深まり、
コミュニティの強化にもつながります。



表彰式

2012年1月21日(土)、東京・御茶ノ水の損保会館2階 大会議室において、第8回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」表彰式が行われました。



文部科学大臣賞を受賞した「大島守り隊ガールズ」代表児童の島内さん



防災担当大臣賞を受賞した「みつばち・かもめ防災探検隊」代表児童の林さん



消防庁長官賞を受賞した「阪本シスターズ」代表児童の百木さん



まちのぼうさいキッズ賞を受賞した「ミラクルレインボー」代表児童の小山内さん



未来へのまちづくり賞を受賞した「吉崎赤手ガニ防災隊」代表児童の湯谷さん



わがまち再発見賞を受賞した「いっぺいじょうとう」代表児童の堀毛さん



ぼうさい探検隊賞を受賞した「上春キッズ探検隊」代表児童の角田さん

ホワイエ展示



展示作品の前で「ハイ、チーズ!!」



代表児童と指導者の皆さんにインタビュー



少し緊張しながらも、堂々とインタビューにお答えいただきました



指導者の方々からは、活動による地域の変化や実施時のこぼれ話などもご紹介いただきました



プレゼンター、入賞校・団体の代表児童、指導された担当者の方々と一緒に記念撮影

主催者代表挨拶



社団法人日本損害保険協会
専務理事 浅野広視

審査総評



審査員長 室崎益輝氏
(神戸大学 名誉教授/
関西学院大学 総合政策学部 教授)

閉会挨拶



朝日新聞 ゼネラル・マネジャー
兼東京本社報道局長 福地献一



審査の様子

全国47都道府県の小学校や子ども会など344校・団体から1,643作品もの応募があり、厳正なる審査を重ねた結果、入選15作品を決定しました。

今年度の全体傾向

- 東日本大震災の被災地域から、数多くの作品が寄せられた。岩手・宮城・福島など被害が大きかった地域は言うまでもないが、茨城・栃木・千葉などの地域からも「3月11日を振り返って」といったテーマの作品が多い傾向にあり、復旧・復興へ向けた前向きなメッセージが数多く見られた。
- 被災していない地域からも、東海・東南海・南海地震や首都直下地震などへの備えといったテーマの作品が例年よりも目立った。震災を契機として、「自分たちの住むまちは本当に大丈夫か？」という視点で内容を掘り下げた作品が増えている印象を受けた。
- 西日本エリアでは、震災・津波のほか、台風や豪雨災害をテーマとした作品も目立った。いずれも、地域特有の災害として、子どもたちが強い当事者意識を持って取り組んだことが伝わってくる作品となっている。

地域性・提案性・教育効果性など

- 地域独自の災害や危険の特性をしっかりととらえ、「自分たちに何ができるか」「どんな地域にしたいか」といった点まで踏み込んだ作品が増えてきている。なお、防災テーマの作品は昨年と比べて7%ほど増加し、全体の44%を占めている。
- 防犯や交通安全をテーマとした作品についても、「なぜ危ないのか」「どう注意すればよいか」といった点まで考えたコメントが多くなっている。
- インタビューの際に地域の歴史調査などを行った作品が増えており、インタビューに答えてくれた方への感謝や信頼が伝わってくるコメントも多く見られた。
- 作成したマップを使って発表や討論会を行ったり、地域の方へのインタビューなどを積極的に行うことで、提案力や社会性の強化につながっている。子どもが起点となって大人たちのコミュニケーションが活性化するなど、教育効果が大人にも波及している事例も増えてきている。
- 高学年と低学年が協力して取り組んだ作品の割合が増加しており、子どもたちの協調性が育っていることがうかがえる。

本審査の様子



本審査員

むろさき よしてる
室崎 益輝 氏

神戸大学 名誉教授／関西学院大学 総合政策学部 教授（審査員長）

さとう ひろき
佐藤 浩樹 氏

文部科学省 スポーツ・青少年局学校健康教育課 安全教育調査官

なかほど のりよし
仲程 倫由 氏

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（総括担当）付企画官

やまぐち ひでき
山口 英樹 氏

総務省消防庁 国民保護・防災部 防災課長

みなみ てつひと
南 哲人 氏

文部科学省国際統括官付 日本ユネスコ国内委員会事務局 ユネスコ協力官

むろ た やすこ
室田 康子 氏

朝日新聞社 お客様本部長

あつみ ともひで
渥美 公秀 氏

特定非営利活動法人日本災害救援ボランティアネットワーク 理事長

くりやま やすし
栗山 泰史 氏

社団法人日本損害保険協会 常務理事

審査総評

◆はじめに

2011年は、とても大変な年でした。東日本大震災の津波・倒壊や放射能だけでなく、各地で台風や洪水があり、大きな被害とともに私たちはたくさんの仲間を失いました。あらためて心から哀悼の意を捧げるとともに、こうした悲しい思いをもう二度と経験してはいけない、と思っているところです。

3月11日の震災直後、私の頭に真っ先に浮かんだのは、過去にご応募いただいた東北の学校・団体の皆さんのことでした。無事だろうか、辛い思いをしているのではないかと案じていたところ、そうした団体の一つから、本当に素晴らしい作品が届きました。その内容は、大人に対して夢や希望を伝えるメッセージです。困難の中で、子どもたちが大人を引っ張って、明るい地域・希望を持てる地域を創ろうというメッセージを伝えてくれました。これほど嬉しいことはありません。

◆防災教育が子ども・大人・地域を守る

今回、コンクールに応募しようとしたものの、震災の影響でどうしても時間が取れず断念された学校・団体もあります。仲間を失ったために応募できなくなった子どもたちもいます。しかし、こうした状況の中にもかかわらず、昨年を上回る作品数が集まり、1万人以上の子どもたちが参加してくれました。今回応募してくれた全ての子どもたちにお礼を申し上げるとともに、取り組みを支えてくれた地域の方々にも心からお礼を申し上げたいと思っています。

被災された県からも多くの作品が寄せられ、その中で子どもたちは未来に向けて安全な地域社会を作ろうと発信しています。また、第1回のコンクールに参加してくれた石巻の湊小学校の子どもたちが、7年経った今、ボランティアとして避難所の最前線で頑張ってくれたそうです。私はこのお話を聞いて、ぼうさい探検隊を推進してきて本当に良かったと思いました。釜石の鶴住居小学校の子どもたちも、日頃からのマップ作成などの防災学習を活かし、中学生と手を携えて真っ先に高台に避難することで、みんなの命を救うことができました。子どもの力だけで、自分たちの命を守ることができることを教えてくれた、これもマップ作りの力です。マップを作って地域を知ることは、自分の命を守る・両親を守る・地域を守ることに繋がることを、まさに実践してくれたといえます。

今回はそれに加えて、全国から800を越える被災地応援メッセージが寄せられました。ぼうさい探検隊を通じて、大きな「心のつながり」ができているのだと思います。



審査員長

むろさき よしてる
室崎 益輝 氏

神戸大学 名誉教授／
関西学院大学 総合政策学部 教授

◆審査の中で特に感じたこと

さて、今回の作品を審査する中で、作品の傾向が大きく2つに分かれてきている、と感じました。

一つは、最初にテーマを決めて深く調べるという傾向です。震災の経験をふまえて、例えば避難時のお年寄りへの声掛けはどうしたらいいか、帰宅する時のルートはどう考えたらいいか、避難場所はどこが最も適切かなど、一つのテーマをじっくり掘り下げて、子どもの目でいろいろな提案・考え方・思いをマップの中に盛り込んでいます。外出先で地震があったらどう帰宅するかという提案はとても大切ですし、地域にいるたくさんのお年寄りにどうやって声を掛け一緒に逃げるべきかということも大きな課題です。地域の特性として水害について調べ、どう対策すべきかを深く考えた作品もありました。震災がきっかけとなって、子どもたちが発見したテーマを深く考えていくというスタイルが確立されてきた、と感じます。

もう一つは、テーマにこだわらず、地域の中に入って調べたこと・感じたことを素直にまとめるという傾向です。今回はこうした「防災マップ作りの原点」といえる作品も多数ありました。低学年らしい視点で素直に地域を探検していたり、毎日通う通学路の危険を地域の特性とあわせて考えた作品もありました。都市部の防災をテーマに粘り強く丁寧に調べ上げた作品には、大人が普段気づかないことが細かく書かれています。地域の現状を丹念に調べるだけでなく、歴史や伝承についても盛り込んだ素晴らしい作品もありました。

◆ぼうさい探検隊の「原点」とは

子どもたちが大きく成長し、災害に強い子どもたち、未来を担う子どもたちが生まれ育っていくということが、この活動の原点です。

そのためには、先生・保護者・地域の大人たちが、子どもたちを中心にしながら寄り添って地域を見つめなおし、地域を安全にする解決策を見出すという大きな取り組みにしていくことが大切です。これこそ、これからの日本に光を当て、安全で安心な社会にしていこう、ということではないでしょうか。

最後に、今回ご参加いただいた全ての皆さんにももう一度「ありがとう」と申し上げて、審査総評とさせていただきます。



文部科学大臣賞

こもぶち
愛媛県宇和島市立蔭淵小学校
「大島守り隊ガールズ」

6年生 2名

テーマ

防災



工夫点や地域への働きかけ

- まちなか探検の際に、地域の方々に津波警報時の避難と周囲への声掛けをお願いした。
- できあがったマップは地域の方々に見てもらったほか、1月末の学芸会で発表会を行い、児童の思いを発信した。



評価されたポイント

●地域性・テーマ性

「防災声掛けマップ」というテーマの設定が、とても良い。災害時に誰が誰をケアするかという点をしっかりと調べ、顔写真まで入れてまとめている点が高く評価できる。



ZOOM UP

●ビジュアル性

作品全体の色合いが、すっきりとしていて見やすい。顔写真なども良い顔で撮られていて、取材時の和やかな雰囲気が伝わってくる。



ZOOM UP

●提案性

災害時要援護者支援マップとしても十分に使えるほどの内容となっており、テーマの明確性とも連動して「何を伝えたいのか」がとてもよくわかる。

●教育効果性

地域の高齢者と一緒に避難所まで歩き、何分かかったかを調べて記入している。調査内容自体も素晴らしいが、高齢者への思いやりの醸成、年齢差を越えたコミュニケーションという点でも、教育効果が高い作品といえる。



ZOOM UP

入選者 喜びの声

VOICE



私は大島地区の最後の小学生として、防災マップ作りに取り組みました。何度も地域を回ったり、おばあちゃんたちと避難経路を歩いたりして、友だちと二人で作りました。災害の時に生かしてほしいと思います。賞をいただいて、本当にうれしいです。

(島内 未沙希さん)



「自分の命は自分で守る」力を身に付けさせるための活動の一つとしてマップ作りに取り組んでいますが、この地区ならではのマップができたと思います。「自助」「共助」の意識も高まってきました。協力していただいた地域の方々に、感謝しています。

(大塚 誠司さん)





防災担当大臣賞

かわらまち
福島県相馬市川原町児童センター
「みつばち・かもめ防災探検隊」

3年生 10名

テーマ

防災



工夫点や地域への働きかけ

- 高さのある道路、避難場所にもなる高いビル、防災無線線展望台など、これからの町に必要なものを考えた。
- 市役所を訪問し市独自の計画などを聞くことで、未来のまちづくりに関する児童の意識も高まった。



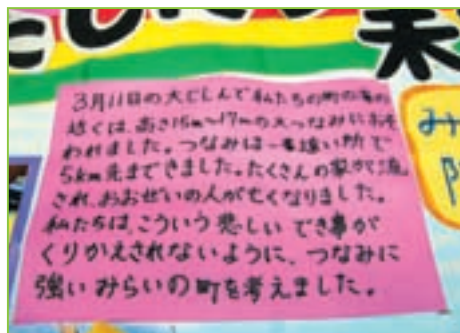
「みつばち・かもめ防災探検隊」のみなさん



評価されたポイント

●地域性・テーマ性

東日本大震災での被災経験をもとに、「未来の町マップ」として取り組んでいる。被災地ならではの、いわば「復興・夢マップ、希望を形にした作品」といえる。

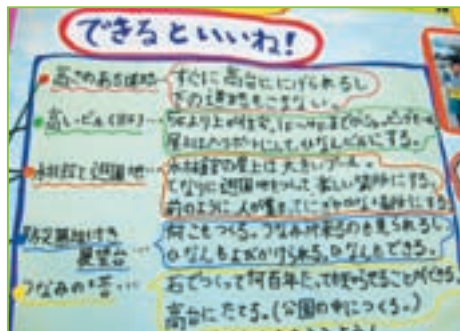


●ビジュアル性

津波被害の状況を色分けしてわかりやすくしており、この地域の被害状況が大きかったことを改めて実感させられる。タイトル部分の虹も、この作品の前向きな姿勢を表現している。

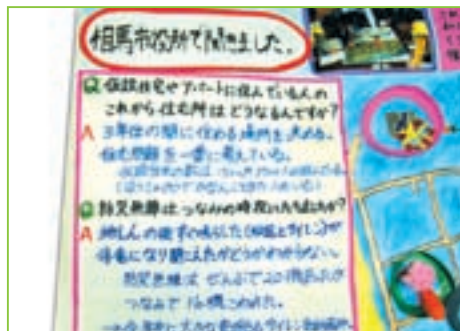
●提案性

右上に提案内容をまとめており、高さのある道路や防災無線付展望台といったもののほか、遊園地や水族館などの施設も作って欲しいという子どもならではの提案が微笑ましい。



●教育効果性

市役所を訪問するなど、日頃からの行政との連携が感じられ、継続教育の成果が出ている。しっかりとインタビューを行っていることも伝わってくる。



入選者 喜びの声 VOICE



賞に選ばれたと聞いた時、びっくりしました。地しんやつ波で変わってしまった町ですが、私たちはこの町が好きです。こういう町になったらいいなとみんなで考えて作ったマップが選ばれて、とてもうれしいです。

(林 愛華さん)



東日本大震災により、津波や放射能等、心休まることのない日々が続く、今回は参加を見合わせようと思っていました。しかし、こんな時こそ子ども達に夢と希望を与える機会をと考え参加したところ、素晴らしい賞をいただき感動しております。ありがとうございました。

(永井 清美さん)





消防庁長官賞

にほんばし
東京都日本橋消防少年団
「阪本シスターズ」

5年生 4名

テーマ

防災



工夫点や地域への働きかけ

- 通学に地下鉄を利用している児童も多いため、地下鉄の駅もまちなか探検のルートに加えた。
- オフィスが多い地域のため、昼夜や平日・休日
で人口が大きく異なる点も勘案し、多くの情報を盛り込んだ。



「阪本シスターズ」のみなさん

評価されたポイント

●地域性・テーマ性

オフィスビルの立ち並ぶ地域の防災というテーマで、日本橋ならではの作品となっている。地下鉄の駅が多いといった特徴も押さえて、探検ルートに入れている点も良い。



ZOOM UP

●ビジュアル性

地図が非常に見やすく、わかりやすい。色数を抑えたことでメリハリの効いた作品となっており、調べたことが伝わってくる。写真の撮り方も良く、コメントとあわせて見やすく配置されている。

●提案性

消防水利の上に駐車されている、植栽が邪魔で消防設備がうまく使えないといった細かい点も丁寧に調べている。コメントの多くは、単に調べるだけではなく感想や発見も含めた「呼びかけ」の形になっているため、この作品の各所からメッセージ性も感じられる。



ZOOM UP

●教育効果性

さまざまな発見や感想が素直な言葉で記入されており、子どもたちの積極性・自主性が強く感じられる作品となっている。



ZOOM UP

入選者 喜びの声

VOICE



仲良しの団員で作った作品が消防庁長官賞に選ばれて、驚きとうれしさで思わずバンザイしてしまいました。いつも通っている道でしたが、知らない所に送水口や消火器、備蓄などがたくさんあり、とても勉強になりました。

(百木 愛結さん)



防火防災の視点で町を歩き、地域の安全を支える多くのものに気付いたことで、団員の防火防災意識を高めることができました。今後も訓練に励み、地域の防火防災力向上の一端を担えるよう努力していきたいと思えます。

(安達 征太さん)





まちのぼうさいキッズ賞

(ユネスコ共催事業優秀賞)

ガールスカウト日本連盟千葉県第3団
「ミラクルレインボー」

5～6年生 4名

テーマ

防災



工夫点や地域への働きかけ

- 事前学習として「そなエリア東京」を訪問し、体験学習を行ったことで、より具体的な活動ができた。
- 地域の子どもまつりでの掲示のほか、市の防災課にマップ作成の報告をし、改善すべきと思った点を伝えた。

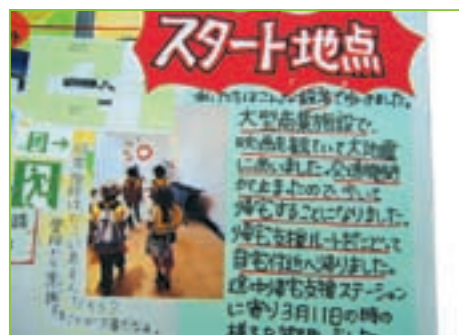


「ミラクルレインボー」のみなさん

評価されたポイント

●地域性・テーマ性

帰宅支援ルートを歩くにあたり、どういう設定で歩いたかが右下部分に詳細に記入されている。明確な目的のもと、「自分たちにも起こりうる状況」を具体的に想像しながら探検を行っていることが強く伝わってくる。



●ビジュアル性

どのルートをどう歩いたかがわかりやすく表現されており、見ているほうもまるで一緒に歩いているような印象を受ける。ルートの中に配置されているマークや、細かい写真を丁寧に切り取って配置している点なども、かわいらしい。



●提案性

ルートの随所で3月11日の様子をインタビューしており、内容をうまくまとめている。児童の感想や気づきを、提案として記入している点も良い。



●教育効果性

東日本大震災を経験して、自分たちの考えたことや感じたことを行動につなげていることがよくわかる作品といえる。

入選者 喜びの声

VOICE



3.11を経験したこともあって、マップの完成までメンバー全員が力を合わせて取り組めたと思います。今回で3回目の応募ですが、これまでの中で一番達成感が大きかったので、入賞と聞いて本当に嬉しいです。

(小山内 佐和さん)



震災直後のまちの様子を振り返り、その教訓を活かそうとテーマを決めました。継続して取り組んでいる成果で防災意識も高まっており、今回はマップ完成まで非常に充実した活動ができましたが、受賞は嬉しいご褒美となりました。有難うございました。

(小山内 美礼さん)





未来へのまちづくり賞

(朝日新聞社賞)

よしざき
福井県あわら市吉崎小学校

「吉崎赤手ガニ防災隊」

4~6年生 6名

テーマ

防災



工夫点や地域への働きかけ

- 北潟湖と日本海に囲まれた歴史ある吉崎の特色を、わかりやすく表現するようにした。
- 地域の活性事業である「わくわくフェスタ」において発表会を行い、地域の防災意識向上を促した。

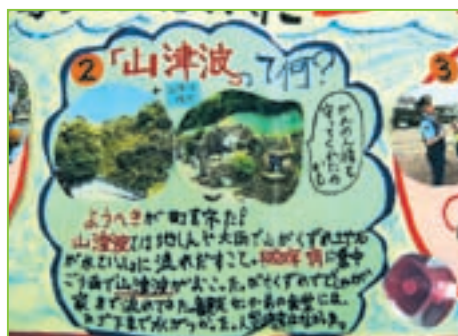


「吉崎赤手ガニ防災隊」のみなさん

評価されたポイント

●地域性・テーマ性

地域に生息する「赤手ガニ」をはじめ、福井の震災・山津波・地域の七不思議などをコラム的に盛り込んでおり、地域への関心や愛着が強く感じられる。



●ビジュアル性

地図そのものは若干目立ちにくいものの、全体のレイアウトをよく工夫しており、楽しい作品。コメントの配置なども、地図の視認性を妨げないように配慮されている。

●提案性

メンバーそれぞれの顔写真をめくると、伝えたいことや感想を「防災俳句」に仕立てて記載している。他の作品には見られない、ユニークで提案性も高い取り組みといえる。



●教育効果性

地域のことを良く調べて、カニの足部分にうまくまとめている。子どもたちが楽しみながら活動したことがわかり、教育効果性も高いと感じられる。



入選者 喜びの声

VOICE



初めて取り組んだ防災マップが素晴らしい賞に入り、とてもびっくりしています。マップには吉崎の赤手ガニを登場させ、一人ひとりが気がついたことを出し合い、話し合ってまとめていきました。災害時は、みんなで協力し合うことが大切だと感じました。
(湯谷 茉祐さん)



消防署や地域の方々にご協力いただき、地区内を歩いたことで、日頃気づかない発見がたくさんありました。子どもたちは命の大切さについて考え、防災意識をもち、心をつなげてマップ作りに取り組むことができました。ありがとうございました。
(北村 郁子さん)





わがまち再発見賞

(日本災害救援ボランティアネットワーク賞)

くぼがわ
 沖縄県那覇市久場川児童館
 「いっぺいじょうとう」

1年生 5名
 テーマ
 防犯・交通安全



工夫点や地域への働きかけ

- 安全マップの意味を1年生に理解させるために、ビデオや昨年度のマップなどを参考にして事前学習を行った。
- 消防署を訪問し、台風時の対策や避難場所の確認、住んでいる地域の標高などを確認した。





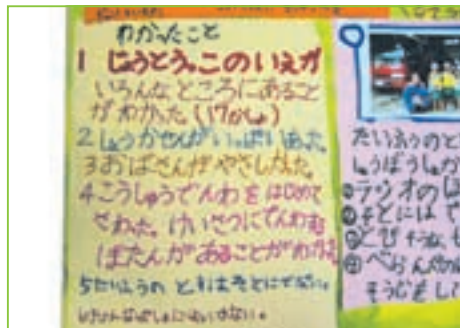
評価されたポイント

●地域性・テーマ性

通学路の安全というテーマで、1年生が一生懸命に活動したことが伝わってくる。

●ビジュアル性

コメントの大部分はひらがなであるが、1年生という点を考慮すれば、むしろ良く書き込んでいると感じる。写真も楽しそうで、地図自体も色数を抑えているため、見やすい。



●提案性

危険な場所は「×」、安全な場所は「○」というように、わかりやすく表現されている。通学時に近所の方に挨拶をして、顔を覚えてもらおうといった提案も非常に良い。



●教育効果性

地域の安全な場所として「子ども110番の家」などをしっかりと調べているほか、公衆電話に初めて触れたといった体験も盛り込まれている。また、数名の幼児も一緒に活動しており、1年生ながらに「お兄さん・お姉さん」として頑張ったものと思われる。コメントの中には、「○○さんありがとう」「親切にしてくれた」といった言葉も多い。



入選者 喜びの声 VOICE



賞をもらうことができ、とってもうれしいです。安全マップ作りでは、道をおりがみで作る工夫をしました。みんなで作ることができて楽しかったです。毎朝、ぼくの通る道にスクールおばさんがいてくれることで、ぼくは毎日安心して一人で道をわたれるようになりました。
(山田 未羽星さん)



小学1年生が工夫し時間をかけて作りあげた作品が、このような素晴らしい賞を頂き、みんな喜んでます。マップ作りを通し、安全・安心・防災への意識の向上につながったと思います。本当にありがとうございました。
(宮國 智加子さん)



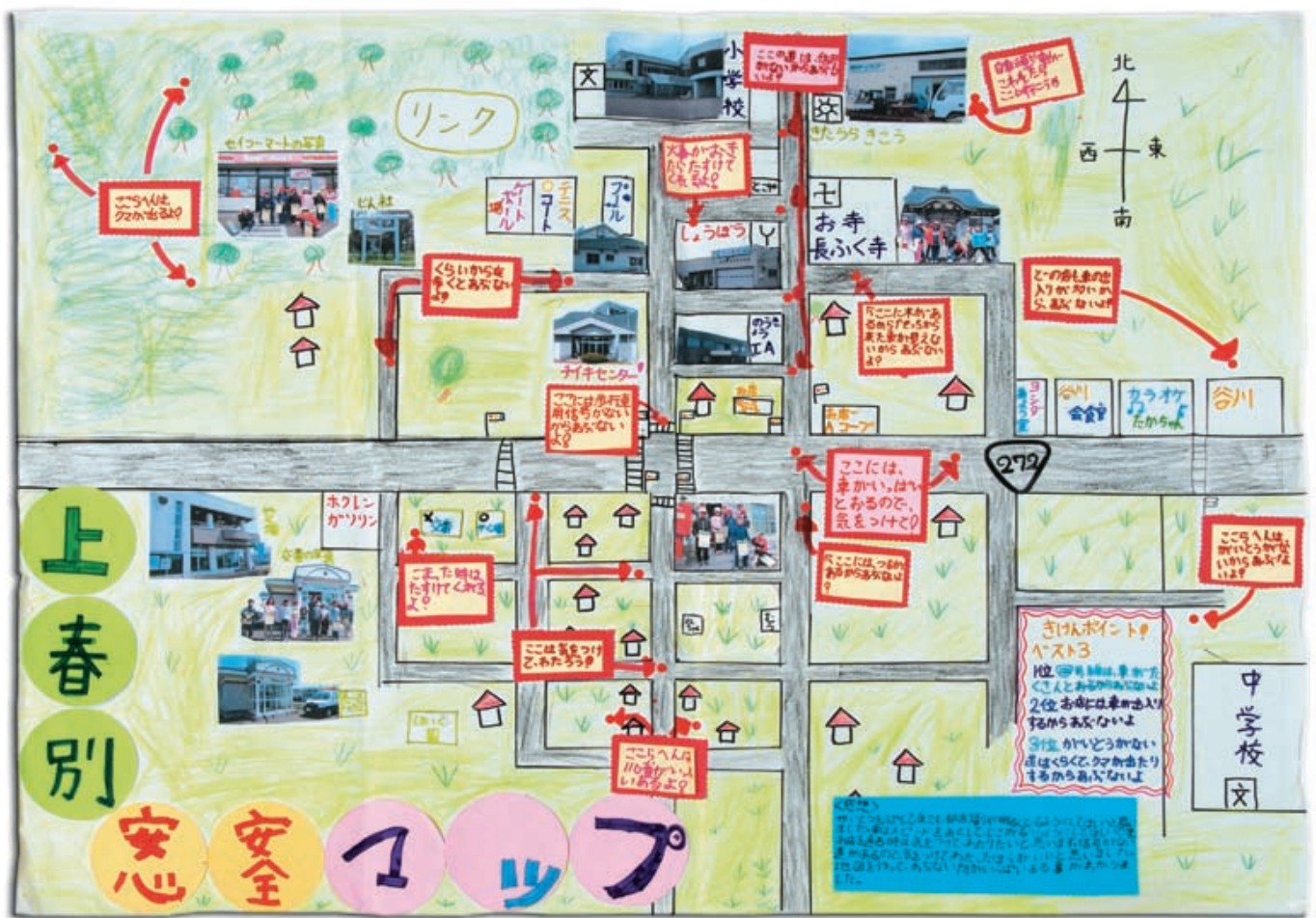


ぼうさい探検隊賞

(日本損害保険協会賞)

ベッかい かみしゅんべつ
北海道別海町立上春別小学校
 かみしゅん
「上春キッズ探検隊」

3年生 10名
 テーマ
交通安全



工夫点や地域への働きかけ

- 交番を訪問し、警察官の方から地域の危険についてお話を伺った。
- 交通安全を主なテーマとしたが、熊が出没するなど地域特有の危険ポイントについても調べて記入した。



「上春キッズ探検隊」のみなさん

評価されたポイント

●地域性・テーマ性

交通安全というテーマで全体をまとめており、道路の危険な場所がきちんと表記されている。

田畑や森が広がり熊も出没するといった地域の様子も、作品から伝わってくる。



ZOOM UP

●ビジュアル性

地図を重視して丁寧に書き込んでおり、交通安全というテーマに合ったビジュアルといえる。スッキリしていて見やすく、国道272号の表示や目印となる中学校・お寺などもわかりやすい。



ZOOM UP

●提案性

危険なポイントを大きくわかりやすく表現しており、地域住民にも伝わる内容となっている。見ている人に呼びかけるようなコメントも良い。



ZOOM UP

●教育効果性

3年生の作品であるが、情報が上手に整理されている。地図の学習を開始した学年という点を考慮すれば、よく考えてまとめられている作品といえる。

入選者 喜びの声

VOICE



全国で7つしかない賞に入れて、とても嬉しかったです。町の中でも、探検してみると、危険な所がいっぱいありました。危ない所を少なくしていきたいです。マップ作りは楽しかったです。

(角田 風花さん)



初めて応募させていただき、こんなに素晴らしい賞を頂けたことにビックリしています。今回の活動を通して、子ども達も町の安全についての意識が高まりました。今後も活動を続けていきたいと思ひます。ありがとうございました。

(照井 由加さん)





審査員特別賞

しらかた
茨城県東海村立白方小学校
「仲良し3人組」

5年生 3名

テーマ

防災



評価されたポイント

東日本大震災の被災時の様子を後世に残そう、という気持ちが明確になっている。「通学の途中で大規模地震が発生したらどう身を守るか」という設定も、具体的で良い。

地図そのものを活かして、ルートを見やすくスッキリとさせている点が良い。あえて情報量を控えめにして、視認性を高めていることがわかる。道の凹凸なども丁寧に書き込んでいる。

ランドセルで身を守る方法や、震災でどこまで瓦が落ちたかなど、考えたことや調べたことを伝えようという気持ちが強く表れている。メッセージも簡潔で、わかりやすい。

右下部分に感想をまとめており、学んだことや伝えたいことが明確になっている。また、過去の活動により改善された部分を再確認するなど、継続学習の効果も感じられる。



2年連続で審査員特別賞をもらえると聞いて、とてもうれしいです。3月11日の震度6弱という大地震の体験を思い出して作ったもので、地震のときに注意しなければならないことが友達に伝えられたらいいと思います。
(綿引 恵さん)



夏休みに仲良し3人組とお母さんでよく調査し、きれいにまとめあげました。学校にも掲示したので他の児童も防災意識が高まりました。すばらしい賞に2年連続で入賞することができ、学校のみんなも喜んでます。
(永沼 美加さん)

日本ボーイスカウト埼玉県連盟草加第7団 「カブスカウト隊」

4~6年生 10名

テーマ

防災



評価されたポイント

東日本大震災を振り返るというテーマで、PDCAサイクルを意識して取り組んでいる点が高く評価できる。

地図情報は若干伝わりにくいが、一生懸命さが作品全体から感じられる。情報量をもう少し整理して文字を大きくすれば、大人顔負けの研究であることがさらに伝わる作品。

商店街の20箇所インタビューを行っており、学んだことや気づいたことを正確に伝えたいという気持ちが反映された作品となっている。地域のお祭りでの発表や商店会への報告など、提案活動を積極的に行っている点も素晴らしい。

2ヶ月半ほどの時間をかけて、丁寧に調べ学習を行っていることがよくわかる作品といえる。



みんなで力を合わせて作ったマップで賞が取れて、本当にうれしかったです。マップ作りの中で町の色々な人の話を聞いて、とても勉強になりました。商店街、シルバー人材センター、市役所や消防署の人たちに感謝します。
(大山 英雄さん)



東日本大震災により、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。震災の振り返りと自分の町に大地震が発生したらどう備えるかを、何回も話し合いました。完成までご協力いただいた多くの方々に感謝申し上げます。
(濱田 真輔さん)



評価されたポイント は「地域性・テーマ性」「ビジュアル性」「提案性」「教育効果性」の順に記載しています。

東京都目黒消防少年団 「目黒消防少年団」

1～6年生 11名

テーマ

防災



評価されたポイント

東京都の「地域に関する地域危険度測定」をもとに、総合危険度5の地域を対象として活動している。まちなか探検の中で、地域の様々な場所を丁寧に調べていることもよくわかる。

非常に丁寧な作りこみをしている作品と感じる。写真についても、必要な部分を的確に切り取り、たとえば防災備蓄倉庫の扉を実際に開けて中を見ているかのように見せる工夫などはとてもわかりやすい。また、この作品は凡例が目立つ位置に配置されており、地図としての機能も充分に備えている。

町会の方や区の職員と一緒にまちなか探検を行っており、この活動そのものが行政や地域への提案となっている点も良い。

防災に関するポイントをしっかり押さえて探検しており、深い学びとなっている。



私は、みんなで作ったマップが入賞したと聞いてすごくうれしくなりました。探検は、いっぱい歩いてつかれたけれど、楽しくていろいろ勉強になりました。ぜひまた、防災マップを作りたいと思います。

(西山 あゆさん)



地域の人と触れ合いながら防災マップを作成したことは、とても良い経験になりました。みんなでいろいろとアイデアを出し合って完成した防災マップが審査員特別賞を受賞し、子供たちの絆がさらに深まりました。

(青木 茂さん)

ガールスカウト日本連盟長野県第34団 「もみじっ子防災探検隊」

3～5年生 4名

テーマ

防災



評価されたポイント

長野県の過去の地震を調べ、断層の位置なども含めて「地震への警鐘を鳴らす」という明確なテーマとなっている。

地図の視認性を損なわずに、端的なコメントでまとめているため、見やすくわかりやすい。透明フィルムを使った工夫も、よく考えられている。

自分たちで「防災ベスト」を考案し、実際に着用できるものを作成している。「冬の長野でも着用できるように」といった配慮もあり、地域性もしっかりと考慮した提案となっている。

防災ベストの考案や非常食体験・ボランティア講話など、頭と体の両方を使って学んでいる。



長野県の地図を切り、がんばって作った防さいマップが、入しようしたと聞いてびっくりしました。いつでも、そなえよつねにを忘れないで、これからも、4人でガールスカウトに取り組んでいきたいです。

(西澤 和さん)



防災マップに取り組んで4回目。今回も入賞出来たこと、子供と共に喜んでいきます。地震をテーマに長野県という大きな範囲でのマップ作りでしたが、細かい行動が出来なかった事が心残りです。次回には、今回の振り返りが生かされたらと思っています。

(上野 良子さん)





審査員特別賞

ふなこし
三重県船越少年消防クラブ

4~6年生 29名

テーマ

防災

「船越少年消防クラブまちなか探検隊」



評価されたポイント

「お年寄りから学ぶ」というテーマで、相当量のインタビューを行っている。中央の地図に、過去から現在への地形の変化をレイヤーとして重ねた工夫からも、地域性がよく見て取れる。

レイヤーの工夫は地図としての視認性は若干低いものの、よく考えて作っていることは十分に伝わる。

右下に「提案します！」と4つの項目をまとめており、非常に明快。それぞれの提案内容も、「家族と相談しておく」「冷静に行動する」など、的確なものとなっている。

各コメントから、高齢者とのコミュニケーションが良い体験となったことがわかる作品。インタビュー内容をできる限り盛りこもうとしており、感謝の気持ちも感じられる。



前は佳作でしたので、「今年のもっといい賞をとろう!!」とみんなががんばり、賞をいただいてとてもうれしく思っています。みんなに報告したら「おお~!!」とおどろいて喜んでいました。私は6年生ですので、もう消防クラブ員として活動していけないけど、最後にいい思い出ができました。(森本 海友さん)



3回目の応募でこのような賞をいただき正直驚いています。特に今回は地震当時のころ小学生だった現在70代後半の方からのお話や、当時教師として赴任したばかりの方の講義など、地域の方のご協力により多くのお話を聞くことができ、子供たちにとって有益でした。この場をお借りしてお礼申し上げます。(東 一平さん)

じょうよう
京都府城陽少年消防クラブ
「城陽少年消防クラブ」

6年生 7名

テーマ

防災



評価されたポイント

水害に特化して、エリアを限定して深く調べている。テーマが明確なため、地域の方々への質問などもしっかりとまとまっている。

透明なシートで、池の氾濫時の浸水域を上手に表現している。また、写真の構図や撮り方が良く、どの部分を示しているかがよくわかる。

低地に雨水が集中しやすいことや、水路が落ち葉や雑草・ゴミで流れにくいことなどを発見し、地域の清掃が防災にもつながるという提案に結びついている。

「水路の掃除をすることで水害予防になるとは思わなかった」など、子どもたちの発見が活き活きと盛り込まれている。インタビューの内容もよくまとまっており、わかりやすい。



夏休みの暑い時で大変だったけれど、みんなと一生懸命頑張った結果、審査員特別賞に選ばれて本当にうれしいです。普段は気づかないこともたくさん発見できました。これからも防災について勉強していきたいです。(森口 真佐輝さん)



指導者として常日頃、子供達に災害に備えることに興味を持たせることを考えていますが、自ら探索をするこのマップ作成は、良い刺激になったと思います。また、審査員特別賞として評価され、クラブ員全員で喜んでいきます。(奥田 博幸さん)



評価されたポイント は「地域性・テーマ性」「ビジュアル性」「提案性」「教育効果性」の順に記載しています。

しものかえ
高知県土佐清水市立下ノ加江小学校
「なかよし4人組」

5年生 4名
テーマ
防災



評価されたポイント

津波の避難場所に特化して、それぞれの避難所を調査し、子どもたちの視点で「お勧めの避難場所か、そうでないか」を検証している点が良い。海に面した地域の特性とその危険をよく捉えている。

一見するとシンプルな印象も受けるが、地図を中段に大きく掲載しているため、視認性が高い。地図としての活用を前提とした、わかりやすいレイアウトとなっている。

避難場所を複数の視点で評価しており、判断基準が一定なので「なぜお勧めなのか」がよくわかる。また、「高齢者にとっても適切な避難場所か」という視点も良い。

右下に、結果として最も「お勧め」な避難場所はどこかを記載しており、一連の学習が簡潔にまとめられている。



私たちの防災マップが賞をもらったと先生から聞いて、信じられないくらい、うれしかったです。がんばったかいがあったと思いました。私たちの作ったマップを見て、1人でも人の命を救えたらいいなと思います。
 (山本 亜子さん)



3月の東北の震災を機に防災を身近な問題として考えるようになり、防災マップ作りは、地域の避難場所を1つずつ調べる活動から始め、意欲的に取り組みました。まさかの受賞に大喜びしました。ありがとうございました。
 (岡崎 福恵さん)

鹿児島県奄美市立大川小学校
「奄美大川防衛隊」

5~6年生 12名
テーマ
防災



評価されたポイント

「地域の危険を知ってもらいたい」という気持ちが、作品の各所によく表れている。ハブが出没する場所を細かく調べるなど、地域性も感じられる。

発泡スチロールで作品の上部と下部に山裾を表現しており、地域の様子が伝わってくる。豪雨により崩れたガケの写真なども、説得力がある。全体的な色使いも、地域の雰囲気を上手に表している。

最初にインタビューをしてから探検をしているためか、調べるポイントが明確で、まとめ方も要点を押さえている。粗大ゴミが捨てられている場所など、細かい点もよく見ている。

地域の危険をなくしたい、地域を守りたいという思いが、作品の各所から伝わってくる。調べたことをこれからの地域に活かしてほしい、といった感想も良い。



今回が初めての応募でしたが、審査員特別賞という素晴らしい賞を受賞できてとても光栄に思っています。このマップを作ったことによって、校区や地域の危険な場所を知ることができ、みんなとの絆が深まった気がします。
 (柳田 大貴さん)



奄美豪雨災害を機に、子どもたち一人一人の防災意識が高まり、マップを作成しました。作成中、二度目の災害を経験しましたが、子どもたちは負けることなくそれを乗り越え、マップを完成させました。その結果の受賞ということで大変嬉しく思っています。ありがとうございました。
 (田下 淳さん)



応募状況

第8回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」には、全国から344校・団体(小学校158、団体186)、1,643作品の応募がありました。※前回の応募は317校・団体(小学校160、団体157)、1,607作品でした。

■応募校・団体一覧(申込順) 緑文字は、入賞7作品・審査員特別賞8作品・佳作85作品のいずれかに該当のあった小学校・団体です。

| 都道府県 | 応募団体数 | 応募作品数 | 学校・団体名 |
|------|-------|-------|---|
| 北海道 | 7 | 68 | 札幌市立桑園小学校 / 別海町立上春別小学校 / 札幌市立白楊小学校 / 別海町立上春別小学校 / 苫小牧市立美園小学校 / 札幌市立光陽小学校 / 札幌市立西宮の沢小学校 |
| 青森 | 2 | 26 | 八戸市立根岸小学校 / 八戸市立田面木小学校 |
| 岩手 | 8 | 15 | ガールスカウト岩手県第14団 / 坂水少年消防クラブ / 富沢少年消防クラブ / 矢町立徳田小学校西徳田二区子供会 / 南仙北地区南仙北2・3丁目子ども会 / 遠野市上組町第1区子ども会 / 紫波町立水分小学校 / 紫波町立彦部小学校 |
| 宮城 | 7 | 19 | 加美町中新田地区防災探検隊 / 仙台市通町地域子育て支援クラブ「あおば」 / 角田市東根ふるさと発見隊 / 仙台市富沢児童館 / 大崎市立鳴子小学校 / 仙台市立高森東小学校 / 仙台市立高森小学校 |
| 秋田 | 3 | 3 | 中通区東根小屋子ども会 / 秋田市立勝平小学校3年生トリオ / 由利本荘市立松ヶ崎小学校 |
| 山形 | 1 | 1 | ボーイスカウト山形第43回カブ・ビーバー隊 |
| 福島 | 2 | 2 | MSI 福島 / 相馬市川原町児童センター |
| 東京 | 57 | 411 | 世田谷消防少年団 / 麻布消防少年団 / 神田消防少年団 / 葛飾区立青戸小学校 / 杉並区立天沼小学校4年生 / 武蔵野消防少年団 / 葛西消防少年団 / 王子消防少年団 / 目黒区立油面小学校4年生 / 文京区立指ヶ谷小学校 / 調布市立第一小学校 / 練馬区立大泉学園小学校 / 板橋区立高島第一小学校 / 千代田区立麹町小学校ワーク・わく・クラブ / 江戸川区立第六葛西小学校 / 墨田区立菊川小学校 / 本郷消防少年団 / 牛込消防少年団 / 新宿消防少年団 / 国分寺消防少年団 / 深川消防少年団 / 城東消防少年団 / 調布消防少年団 / 昌平一門前仲町徒歩帰宅訓練隊 / 青梅消防少年団 / 目黒消防少年団 / 日本橋消防少年団 / 台東区立台東児童館 / 大井消防少年団 / 小平消防少年団 / 京橋消防少年団 / 西東京消防少年団 / 江戸川区立西小岩小学校 / 野方消防少年団 / 台東区立谷中小学校 / 中野消防少年団 / 多摩消防少年団 / ボーイスカウト中野第8回カブ隊 / 大田区立洗足池小学校 / 足立区立西新井第一小学校 / 日野市立平山小学校 / 板橋区立高島第三小学校 / 小金井消防少年団 / 江東区立東川小学校 / 日野市立日野第六小学校 / 江戸川区立第四葛西小学校 / 東村山市立久米川小学校 / 大田区立池上小学校 / 中野区立新井小学校 / ちよだぼうさい探検隊 / 世田谷区立立赤堀小学校 / 浅草消防少年団 / 新宿区立津久戸小学校 / 大田区立東調布第一小学校 / 江東区立毛利小学校 / 板橋区立志村第三小学校 / 日本こどもの安全教育総合研究所 |
| 神奈川 | 17 | 132 | YMCA 東かながわ放課後児童クラブ / 鎌倉市立腰越小学校 / 横浜市立深谷台小学校 / 厚木市立清水小学校 / 横浜市保土ヶ谷区岩井町原地区青少年指導員連絡協議会 / 厚木市立森の里公民館地域子ども教室 / ガールスカウト神奈川県第37団 / 横浜市立もえぎ野小学校 / ガールスカウト神奈川県第79団 / 横浜市立上山小学校 / ガールスカウト神奈川県第53団 / ポイントロードキッズ / ボーイスカウト横浜みなと第122団 / ガールスカウト神奈川県第32団 / 相模原市立富士見小学校 / 神奈川県子ども会連合会 / 横浜市立すすき野小学校 |
| 千葉 | 8 | 47 | 船橋市立習志野台第一小学校 / フレンド / 八千代市立米本小学校 / ガールスカウト千葉県第3回 / ガールスカウト千葉県第39回 / ガールスカウト千葉県第69回ブラウニー部門 / ボーイスカウト船橋第20回カブ隊 / 茂原市立中の島小学校 |
| 茨城 | 5 | 19 | 高萩市立東小学校 / 坂東市立中川小学校 / ガールスカウト茨城県第39回 / 東海村立白方小学校 / ボーイスカウト日立1回カブ隊ビーバー隊 |

| 都道府県 | 応募団体数 | 応募作品数 | 学校・団体名 |
|------|-------|-------|---|
| 埼玉 | 13 | 84 | ガールスカウト埼玉県第59団 / ボーイスカウト草加第1回カブ隊 / 川口市立新郷小学校 / ボーイスカウト草加第7回 / 入間市消防少年団 / ボーイスカウト越谷第3回 / 上尾市立上平北小学校 / 草加市立清門小学校 / ボーイスカウト熊谷第2回カブ隊 / ボーイスカウト新座第1回カブ隊 / 坂戸市立千代田小学校 / 所沢市立伸栄小学校 / 羽生市立川俣小学校 |
| 栃木 | 3 | 6 | ボーイスカウト鹿沼第4回カブスカウト隊 / なんでも探検隊 / ボーイスカウト宇都宮第18回カブスカウト |
| 群馬 | 3 | 20 | 富岡市立黒岩小学校 / 玉村町立玉村小学校 / 渋川北小たんけん隊 |
| 山梨 | 2 | 3 | 笛吹市立春日居小学校 / ボーイスカウト富士吉田第1回ビーバー隊 |
| 新潟 | 2 | 2 | 十日町市立吉田小学校 / 上越市立牧小学校 |
| 長野 | 5 | 19 | 安曇野防犯協会連合会 / ガールスカウト長野県第34回 / 長野市立城東小学校 / 安曇野市立堀金小学校 / 上田市立傍陽小学校 |
| 静岡 | 9 | 72 | 静岡市立清水興津小学校 / ガールスカウト静岡県第34回 / 静岡市立清水飯田小学校 / ガールスカウト静岡県第45回 / 天竜地区少年消防クラブ / 浜松市花川地区少年消防クラブ / ガールスカウト静岡県第24回 / 小島防犯・交通安全パトロール / 袋井市立袋井北小学校 |
| 富山 | 3 | 9 | 富山大学人間発達科学部 / 南砺市立福野小学校下吉江地区6年生 / 富山市立柳町小学校 |
| 石川 | 4 | 15 | ガールスカウト石川県第5回ブラウニー部門 / 金沢市立浅野野小学校 / 加賀市立河南小学校 / 輪島市立河原田小学校 |
| 福井 | 6 | 22 | あわらし吉崎小学校 / あわらし北湯小学校 / 明新地区キッズ探検隊 / 坂井市立東十郷小学校 / 勝山市立村岡小学校 / 坂井市立三国北小学校 |
| 愛知 | 12 | 30 | 小学生探検隊 / 則武学区連絡協議会10区子ども会 / 大府市立共長小学校 / 正木 KFG / 橋キッズファイヤーガード / 豊田市立足助小学校4年生 / 大府市立共和西小学校 / ガールスカウト愛知県第66回 / ガールスカウト愛知県第27回 / 豊田市立五ヶ丘小学校 / 飛鳥村子ども会連絡協議会 / 高針学区子ども会育成連絡協議会 |
| 岐阜 | 2 | 4 | 多治見市社会福祉協議会母子福祉センターわくわく塾 / 羽島市立竹鼻小学校 |
| 三重 | 7 | 45 | 「かもっこ」放課後子ども教室 / 鶴方少年消防クラブ / 船越少年消防クラブ / 鳥羽市安楽島子ども会 / 鈴鹿市立白子小学校 / 津市立南立誠小学校 / 津波だ！逃げようトリオ |
| 大阪 | 7 | 33 | 関西大学初等部 / ボーイスカウト富田林第2回カブスカウト隊 / 清見台自主防災委員会 / 貝塚市立中央小学校 / ボーイスカウト八尾第4回カブ隊 / 寝屋川市立和光小学校 / ガールスカウト大阪府第21回 |
| 京都 | 10 | 31 | 大山崎町鏡田連合自治会自主防災組織 / 広芝少年消防クラブ / 山田キッズ5 / 城陽少年消防クラブ / ガールスカウト京都府第68回 / 京都市立砂川小学校 / ガールスカウト京都府第57回ジュニア部門 / 京都市立桃山東小学校 / 桂みまもり隊 / 京都市東山少年消防クラブ |
| 兵庫 | 8 | 44 | 西落合防災ジュニア隊 / 美方広域消防本部 BFC 新温泉町立浜坂東小学校 / 姫路市立英賀保小学校 / 神戸市立星和台小学校 / 高砂市立高砂小学校2年1組 / 三木市立吉川小学校 / 新温泉町立浜坂東小学校4年有志 / 大観レインボーキッズ |
| 滋賀 | 4 | 4 | ボーイスカウト草津第3回カブスカウト隊 / 顕了寺日曜学校 / 守山市放課後児童中心児童クラブ室 / 井上子供会 |
| 奈良 | 4 | 5 | ガールスカウト奈良県第22回 / ガールスカウト奈良県第46回 / ボーイスカウト生駒4回 CS カブ隊 / チームミニドラゴン |



| 都道府県 | 応募団体数 | 応募作品数 | 学校・団体名 |
|------|-------|-------|--|
| 和歌山 | 2 | 6 | ガールスカウト和歌山県第4回ジュニア部門/ 和歌山大学教育学部附属小学校 |
| 鳥取 | 1 | 2 | わくわく探検隊 |
| 島根 | 6 | 34 | 下熊谷ふれあい会 / CS 仲よし隊 / 八日市地域づくりの会 / 出雲市立高松小学校 / 地域自主組織新市いきいき会 / 光善寺ひかり子ども会 |
| 岡山 | 4 | 8 | CS キッズ探検隊 / 岡山市立大宮小学校 / 津山市立中正小学校 / 福元 GT 通学路調査隊 |
| 広島 | 13 | 87 | 府中町青少年少女消防クラブ / 府中市立栗生小学校 / 呉市立波多見小学校 / 世羅町立甲山小学校 / えぼっ娘たんけん GIRLS / 広島市立久地小学校 / 西浦交通少年団 / 広島市立五月が丘小学校 / 広島市立安西小学校 / 北広島町立南方小学校 / 広島市立大芝小学校 / 竹原市立忠海西小学校 / 大竹青年会議所 |
| 山口 | 7 | 44 | 下関市立豊浦小学校 / 下関市立吉母小学校 / 下関市立王司小学校 / 下関市立長府小学校 / 下関市立一の宮小学校 / 下関市立勝山小学校 / 下関市立川中小学校 |
| 香川 | 3 | 17 | 丸亀市立城辰小学校 / 和田ファミリー / 高松市立前田小学校 |
| 愛媛 | 6 | 23 | 宇和島市立蔦瀬小学校 / 宇和島市立三浦小学校 / 西予市立三瓶小学校 / 宇和島市立宇和津小学校 / 西条市立吉井小学校 / 愛南町立東海小学校 |
| 徳島 | 3 | 7 | 吉野川市立上浦小学校 / 牟岐町立河内小学校 / 小松島市芝田小学校 |
| 高知 | 2 | 7 | 土佐清水市立下 / 加江小学校 / 四万十町立興津小学校 |
| 福岡 | 11 | 35 | 周船寺校区子ども会 / 八女市矢部少年消防クラブ / 内藤ぼうさい探検隊 / 八女市立八幡小学校 / ガールスカウト福岡県第23団 / 北九州市立ひびきが丘小学校3年生 / 北九州市立大原小学校 / ガールスカウト福岡県第18団 / ガールスカウト福岡県第5団 / ガールスカウト福岡県第19団 / 小都市立御原小学校 |
| 佐賀 | 1 | 1 | 伊万里市黒川町深山地区牟田子子供会 |

| 都道府県 | 応募団体数 | 応募作品数 | 学校・団体名 |
|------|-------|-------|---|
| 長崎 | 8 | 22 | ボーイスカウト長崎第10団カブ隊 / 長崎市立大園小学校 PTA / 子供ラジオ体操の会 / 南島原市立深江小学校 / 学童ひまわりクラブ / 学童保育ポケットクラブ / 諫早市立上山小学校 / 三原小学校区青少年育成協議会 |
| 熊本 | 3 | 6 | 熊本大学教育学部附属小学校3年2組同級生 / 福×2山 / 熊本市立白坪小学校 |
| 大分 | 4 | 4 | 臼杵市立佐志生小学校 / 高瀬少年消防クラブ / 佐伯市佐伯児童館 / 佐伯市蒲江児童館 |
| 宮崎 | 5 | 24 | 延岡市立延岡小学校 / 愛育福祉こぼとけ児童館・児童クラブ / 宮崎市大塚台児童センター / 大塚台子ども会育成連絡協議会 / ゆりかごー岡保育園学童クラブ |
| 鹿児島 | 5 | 26 | 出水市立高尾野小学校 / 奄美市立名瀬小学校 / 伊仙町立阿権小学校 / ガールスカウト鹿児島県第1団 / 奄美市立大川小学校 |
| 沖縄 | 39 | 99 | 久米島町立大岳小学校 / みらい子育てネットこのゆびと〜まれ! / 石垣市立大浜小学校 / 那覇市若狭児童館 / 糸満市立西崎太陽児童センター / 真和志第四民協 / 八重瀬町立白川小学校 / 宜野湾市立新城児童センター / 沖縄市あげた児童館 / 浦添市立まちなど児童センター / たけの子クラブ / 役所前児童クラブ / 沖縄市福祉文化プラザ児童センター / 那覇市立国場児童館 / みどり町児童センター / 浦添市立西原児童センター / 那覇市久場川児童館 / なかきず児童センター / 宮古島市立池間添児童館 / 宮古島市立佐良浜小学校 / 大山児童センター / 北谷町立北玉小学校 / 那覇市立城東小学校 / 真嘉部コミュニティセンター / 糸満市立兼城小学校北波親子会 / 前田ユブシが丘児童センター / 糸満市立兼城小学校武富親子会 / 北谷町上勢桑江児童館 / 浦添市若草児童センター / 北大東村立北大東小学校 / なかよし学童 / くすくす学童保育クラブ / おやこほし学園 / みなみ童夢 / ちびっこランド / ネバーランド / 西原東児童館 / 県営赤嶺団地子ども会 / 小禄市営住宅子ども会 / 糸満がじゅまる児童センター |

これまでの「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」において、継続的にご応募をいただいている小学校・団体（8回のうち5回以上のご参加）は以下となっています。

今後ぜひ、定期的・継続的な活動として取り組んでいただければ幸いです。

| 応募回数 | 学校・団体名 |
|------|--|
| 8回連続 | 愛知県豊田市立足助小学校 |
| 7回 | 福島県相馬市川原町児童センター / 茨城県坂東市立中川小学校 / 東京都江戸川区立西小岩小学校 / 三重県鳥羽市安楽島子ども会 |
| 6回 | 岩手県南仙北地区南仙北2・3丁目子ども会 / 埼玉県草加市立小山小学校 / 埼玉県草加市立新田小学校 / 東京都江東区立東川小学校 / 神奈川県相模原市立富士見小学校 / 愛知県豊田市立五ヶ丘小学校 / ガールスカウト大阪府第21団 |
| 5回 | 北海道札幌市立桑園小学校 / 東京都東村山市立久米川小学校 / 東京都江戸川区立第四葛西小学校 / 東京都江戸川区立第六葛西小学校 / 東京都大田区立洗足池小学校 / 東京都葛飾区立青戸小学校 / 東京都千代田区立麹町小学校ワーク・わく・クラブ / ガールスカウト神奈川県第53団 / 神奈川県保土ヶ谷区岩井町原地区青少年指導員連絡協議会 / ボーイスカウト山梨県富士吉田第一団ビーバー隊 / 長野県松本市立岡田小学校 / ガールスカウト静岡県第34団 / 愛知県正木消防団キッズファイヤーガード / 愛知県飛島村子ども会連絡協議会 / 三重県津市立南立誠小学校 / 広島県府中町青少年少女消防クラブ / 高知県四万十町立興津小学校 / 長崎県南島原市立深江小学校 |



過去の入選チーム一覧

ぼうさい探検隊マップコンクール入選校・団体（第1回～第7回まで）
※「」内はチーム名です。

| 参加数・受賞 参加団体数 マップ数/児童数 | 第1回（2004年度） 96校 （小学校のみ募集） 478作品/4,832名 | 第2回（2005年度） 219団体 （109校・110団体） 782作品/6,720名 | 第3回（2006年度） 224団体 （118校・106団体） 1,052作品/8,325名 | 第4回（2007年度） 257団体 （159校・98団体） 1,374作品/10,497名 | 第5回（2008年度） 241団体 （143校・98団体） 1,235作品/9,322名 | 第6回（2009年度） 297団体 （155校・142団体） 1,389作品/9,954名 | 第7回（2010年度） 317団体 （160校・157団体） 1,607作品/10,291名 |
|-----------------------------|---|---|--|--|---|--|---|
| 文部科学 大臣賞 | 加須市立不動岡小学校 「おまかせ不動つ子探検隊」 （4年生・埼玉県） | あわら市北潟小学校 「北潟5BFC」 （5年生・福井県） | 秋田市立飯島小学校 「マックスさくらたんけんたい」 （2年生・秋田県） | 浜松市立伊平小学校 「チーム女子刑事セブン」 （6年生・静岡県） | 備前市立神根小学校 「神根レンジャーバスターズ」 （3～4年生・岡山県） | 浜松市立久留木小学校 「チューチュー久留木隊」 （3～4年生・静岡県） | 宇和島市立瀧瀬小学校 「瀧瀬キッズ5」 （6年生・愛媛県） |
| 防災担当 大臣賞 | 美浜町立松原小学校 「浜ノ瀬チーム」 （4・6年生・和歌山県） | 高槻市立三箇牧小学校 「こう水からみんなをまもり隊」 （4年生・大阪府） | 相馬市川原町児童センター 「みつばち防災探検隊」 （2～3年生・福島県） | 四万十町立興津小学校 「興津つ子」 （6年生・高知県） | 守山市ふけ町ふるさとクラブ 「ふけ町ふるさとクラブ後継隊2008」 （6年生・滋賀県） | 三好市立佐野小学校 「佐野防災8」 （5～6年生・徳島県） | 鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 （2・4・6年生・三重県） |
| 消防庁 長官賞 | | 川越市立上戸小学校 「上戸探検隊Aチーム」 （5年生・埼玉県） | 浜松市立村郷小学校 「村郷防衛隊」 （6年生・静岡県） | あわら市細呂木小学校 「細呂木守っ隊」 （5年生・福井県） | 鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 （6年生・三重県） | ガールスカウト日本連盟長野県第34団 「もみじっ子防災探検隊」 （1～2年生・長野県） | 目黒消防少年団 「目黒消防少年団ぼうさい探検隊」 （1・3・4年生・東京都） |
| まちのぼうさい キッズ賞 | 京都市立第四錦林小学校 「吉田見守り新聞」 （4年生・京都府） | 相馬市川原町児童センター 「みつばち防災探検隊」 （2～3年生・福島県） | 浜松市立伊平小学校 「伊平もっ子知り隊」 （3年生・静岡県） | 斜里町立峰浜小学校 「シムツカリぼうさい探検隊」 （1～6年生・北海道） | 徳島市立富田小学校 「さわやかマップ隊」 （5年生・徳島県） | 府中町少年少女消防クラブ 「府中町少年少女消防クラブ」 （3～5年生・広島県） | 相馬市川原町児童センター 「みつばち防災探検隊」 （2～3年生・福島県） |
| 未来への まちづくり賞 | 田原市立赤羽根小学校 「赤小ぼうさいキッズ」 （6年生・愛知県） | 氷見市立余川小学校 「余川防災見直し隊」 （6年生・富山県） | ガールスカウト日本連盟奈良県第1団 「ならまち防災探検隊」 （4～6年生・奈良県） | 新潟県立春葉小学校少年消防クラブ 「春葉小学校ぼうさい探検隊」 （1～6年生・兵庫県） | ガールスカウト日本連盟長野県第34団 「もみじっ子防災探検隊」 （6年生・長野県） | 守山市ふけ町ふるさとクラブ 「びわこスマイルガールズ2009」 （4年生・滋賀県） | 日本ボーイスカウト埼玉連盟第7団 「カブスカウト隊」 （3～6年生・埼玉県） |
| わがまち 再発見賞 | | | 那覇市金城児童館 「金城クローバー」 （3～4年生・沖縄県） | ガールスカウト日本連盟長野県第34団 「もみじっ子防災探検隊」 （5～6年生・長野県） | 別府市光の園子どもクラブ 「光の園安全隊」 （5年生・大分県） | 高松市立栗林小学校 「みんな安心手助けマスターズ」 （3年生・香川県） | 高島市マキノ町区子供会 「つじっ子防災探検隊」 （1～6年生・滋賀県） |
| ぼうさい 探検隊賞 | 石巻市立湊小学校 「はちまんあるある探検隊」 （6年生・宮城県） | 館山市神明町22班 「防火戦隊GO！GO！ファイブ」 （3・5・6年生・千葉県） | 鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 （4・6年生・三重県） | 上富良野町少年消防クラブ 「ひなん所メグレんジャー」 （4～6年生・北海道） | 三好市立佐野小学校 「S.B.8(さのぼうさい・イト)班」 （5～6年生・徳島県） | 鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 （5～6年生・三重県） | 大崎町松山地域ぼうさい探検隊 「コスモロード」 （5～6年生・宮城県） |
| | 京都市立白川小学校 「白川キッズあんぜんたい」 （2年生・京都府） | 鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 （3～5年生・三重県） | 常陸大宮市立大宮西小学校 「西小安全守り隊」 （6年生・茨城県） | さいたま市立高砂小学校 「高砂小学校安全委員会」 （6年生・埼玉県） | 青森市立沖館小学校 「三好のみんなを守り隊」 （4年生・青森県） | 大崎町三本木小学校 「三本木小学校防災探検隊」 （5年生・宮城県） | 東海村立白方小学校 「仲よし3人組」 （4年生・茨城県） |
| | 下呂市立総島小学校 「ハッピーチーム」 （5～6年生・岐阜県） | 海南町立浅川小学校 「浅川ブルースカイチーム」 （5年生・徳島県） | 我孫子市立布佐南小学校 「洪水探検隊」 （6年生・千葉県） | 立川市立第十小学校 「十小GOGOたんけん隊」 （3～6年生・東京都） | 石巻市立石巻小学校 「石小防災探検隊」 （6年生・宮城県） | 日本ボーイスカウト埼玉連盟第7団 「カブスカウト隊」 （3～5年生・埼玉県） | あわら市金津小学校 「金津つ子7」 （5年生・福井県） |
| | 神戸市立御蔵小学校 「みくらトッエンティ」 （4年生・兵庫県） | 日本ボーイスカウト高知県連盟 高知第13団 「ボーイスカウト高知13団」 （1・3・4年生・高知県） | 気仙沼市立中井小学校 「小鶴第1地区子ども会」 「小鶴第1地区津波ひなん場所 パトロール隊」 （2～6年生・宮城県） | 松本市立岡田小学校 「探検ファイヤー」 （4年生・長野県） | 相馬市立中村第二小学校 「放課後児童クラブ」 「かもめ防災探検隊」 （3年生・福島県） | 輪島市立鳳至小学校 「鳳至見守りキッズ」 （6年生・石川県） | 守山市ふけ町ふるさとクラブ 「びわこびんぼうスターズ2010」 （5年生・滋賀県） |
| 審査員 特別賞 | | | | 守山市ふけ町ふるさとクラブ 「ふけ町ふるさとクラブ後継隊」 （5～6年生・滋賀県） | 金沢市立森山町小学校 「金沢市立森山町小学校4年1組」 （4年生・石川県） | 浜松市立伊平小学校 「伊平の安全守り隊」 （5～6年生・静岡県） | 吹田市立桃山台小学校 「桃小安全キッズ」 （3年生・大阪府） |
| | | | | 大津市南郷学区チアリーファーズ 「チアリーファーズ」 （3年生・滋賀県） | 浜松市立伊平小学校 「伊平安全パトロール隊」 （4～5年生・静岡県） | 美方広域消防本部 BFC 香美町立佐津小学校 「命を守る佐津っ子レスキュー隊」 （4年生・兵庫県） | かつらぎ町丁ノ町児童館 「ハッピーかつらぎっ子」 （6年生・和歌山県） |
| | | | | 生駒市桜ヶ丘小学校区 子ども会 「ぼうさい探検隊」 （3～4年生・奈良県） | 香美町立小代小学校少年消防クラブ 「小代っ子ぼうさい探検隊」 （4年生・兵庫県） | 愛南町立東海小学校 「岩水防災キッズ」 （5～6年生・愛媛県） | 下関市立豊浦小学校 「しものせきしいたんけんたい」 （1年生・山口県） |
| | | | | 鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 （5年生・三重県） | 愛南町立東海小学校 「岩水防災キッズ」 （5～6年生・愛媛県） | 四万十町立興津小学校 「マタサカナ」 （6年生・高知県） | 高瀬少年消防クラブ 「高瀬少年消防クラブ」 （4年生・大分県） |
| | | | | 和歌山県立四箇郷小学校 「四箇北パワフルス」 （4年生・和歌山県） | 四万十町立興津小学校 「オキトラ」 （6年生・高知県） | 北九州市立広徳小学校 「広徳小学校4・1・2列」 （4年生・福岡県） | 那覇市久場川児童館 「のびのびクラブ」 （2年生・沖縄県） |

消防庁長官賞は第2回、わがまち再発見賞は第3回から新設されています。
審査員特別賞は第3回までは3作品でしたが、作品数増加に伴い、第4回以降は8作品としています。

もっと安心で安全な社会へ ～日本の笑顔と活気を取り戻すために 私たちができること～

社団法人日本損害保険協会 会員会社一覧

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
朝日火災海上保険株式会社
アニコム損害保険株式会社
イーデザイン損害保険株式会社
エイチ・エス損害保険株式会社
SBI損害保険株式会社
au損害保険株式会社
共栄火災海上保険株式会社
ジェイアイ傷害火災保険株式会社

セコム損害保険株式会社
セゾン自動車火災保険株式会社
ソニー損害保険株式会社
株式会社損害保険ジャパン
そんぼ24損害保険株式会社
大同火災海上保険株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
トーア再保険株式会社
日新火災海上保険株式会社

日本興亜損害保険株式会社
日本地震再保険株式会社
日立キャピタル損害保険株式会社
富士火災海上保険株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
三井ダイレクト損害保険株式会社
明治安田損害保険株式会社

2012年2月現在（会員会社25社50音順）

社団法人 **日本損害保険協会** 〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町2-9 URL <http://www.sonpo.or.jp/>
(お問い合わせ) 生活サービス部 TEL: 03-3255-1294 FAX: 03-3255-1236



※再生紙を使用しています



かけがえない環境と安心を守るために
（社）日本損害保険協会ISO14001を認証取得しています。